

報月部樂俱トツヨ本日

號 六 第

日 一 月 二 年 七 初 節

- 二月例會……………
- フィッティングアウトル豫定表……………
- スウェデニール……………
- シーズンは近づいた…………… 吉本 正雄
- 新艦の完成近し…………… 桑野世船所
- 重荷を下して…………… 吉本 善多
- 問題のルールボード…………… 安盛 善他
- 俱樂部ハウス建設資金…………… 安田貞一郎
- 木の乙女は斯く夢見る…………… 二田 静子
- ヨットカール就職時代…………… 長谷川 英一
- 船なら何でも好き…………… 吉本 満里子
- 或る對話…………… 鈴木 英
- コックピットから……………

◎二月例会

二月十四日午後一時から、四條橋畔先尾政で開かれた二月例会に
御出席下さった方々次の通り

宮崎、安田貞、安田常、上田、長谷川、安盛、鈴木、吉本善、

松山、遠藤、岡本繁、岡本專、 當番吉本正、

吉本氏の靴の中からL・O・A二寸のモデルヨットが飛び出す。セント
ーボードと舵をつけてやれば、御望みに応じて各種帆走型の実験が
出来ます。お持帰り下さって金盞の中へ浮かして御試験を願ひます
といふ品物。

クラブバンとは少々高くつくので思索中との長谷川氏のお話も岡
本氏御兄弟がお出で下さったため案ずるより生むが易く羽二重で修
ることにになりました。

(1)

上田氏からは艇庫の拡張が完成し、晴嵐・晴浪の補強も着手中との
御報告がありました。

艇庫の屋根で子供が満洲でつこや、上海遊びをやるので之が対策を
講じねばならぬといふ話です。

安盛氏もルール研究用の模型を持って来て居られました。ボードは
ベニヤ板二枚折りのものを作つて下さるとの事。

ルール解説は宮崎氏休講のため吉本氏がオーヴァラツプ論を代講一
席

フイツティングアウトは三月六日から始めて二十一日までに完成す
ることとし別表の長谷川氏案に依る事。

今シーズンのスケデュールは此のフイツティングアウトから始まっ
て十月の總會で終ること、決定。

(2)

京都方面の宣伝は安田常保氏の御宅を京都事務所として運動を開始する予定です。
 十六ミリのヨット映画シナリオを募集します。四百呎位のものに纏まるストーリーを持つもの。
 右の様な事柄を話し合ひ間近に迫つたシーズンに於ける活躍を各自胸に描きなびて散会。

◎ フィッティングアウト豫定表

日 程	工 程	所要材料
三月六日	一 船庫整理	ブラシ、タワシ
第一日曜	二 船体クリーニング	ニス、ポテ

(3)

三月十三日	三 デッキ塗替 四 ポテ話替 五 船庫屋根塗替	船台用材
三月廿二日	六 船体持上げ作業 七 船体ペインティング (第一工程)	フラン、ペンキ
三月廿日	八 船体ペインティング (第二工程)	
三月廿一日	九 船具整理 十 新艇格納準備 十一 新艇回送	
春季皇霊祭		

(4)

◎スケヂュール

三月　　フイツテインゲアウト

四月　　ヨツトの夕、十六日　京都、十七日　大津

春期繪会及進水式　十七日

講習會

五月　　周航（凡梅前に）

六月　　神戸外々クラブ員招待

七月　　中等学校対抗レース

八月　　一般オープンレース（ウィンターを主として）

九月　　秋期繪会（松茸狩）

以上

(5)

◎シーズンは近づいた

吉本 正雄

(6)

水も温つて來ましたし、もう疏水河畔の櫻も咲きませう。

ヨツトのシーズンです。

琵琶湖に春が訪れた。

昔春ははいそいとフイツテインゲアウトに忙しう、
だが此の四五の両月、特に四月は充分注意して下さい。冬り元流配
置から夏への変わり目では思はぬ風が吹きます。今まであつた風がな
なつた瞬間思はぬ疾風がやつて來ます。

午後二時三時頃から一定します。この時間ではどうしても琵琶湖の近
くでセイルしてゐて下さい。カラツと晴れた日は長命寺感しに吹い
てゐるが、堅田から吹いて居たら兎も角、西マ、比良マ、石山方面

から吹いて居るのは風に変化があります。

本は暖まつても未だ十五分と命がもたない時でありますから二艇一箱に四人も出掛ければ好いでせうが一々や二火では、どんな結果になるとも限りません。充分御注意下さい。夏になれば思ひ切つてセイル出来ませうから。

◎新艇の完成近し

桑野造船所

部員諸君益々御健祥の段慶賀至極に存じます。

ヨツトのシーズンも迫つて参りました。造船中の新艇工事も極力完成を急いで居ります。

時々部員諸賢の御來所により、其の工程も既に御承知の事と存じます。造船工事としては大体完了し製作中のマスト及舵も出来上り

ました。金具類の整備も終了したので愈々塗装工程に入るわけで御化粧が出来上れば必ず皆様の御満足を得るヨツトが浮ぶ事と存じます。

舊式艘のヨツトに依り付け肋骨を凡れる工事も既に完了致し皆様の御手凡を待つて居ります。

◎重荷を下して

吉本 善多

中卒校の最後の試験も終わりました。やつと重荷の下りた旅な感じですね。然し早く出たく思つて居た卒校もさて別れるとなると感慨無量です。

盆栽の桶の花も開き切つて毎朝少しづつ散つて居ます。また雪も降り、もつと寒い日も續きますせうが草木の下萌えも目につ

き日々に春のいて行く気がします。最早櫻咲く三月です。我等の后躍する日も近づいて来ました。

此頃ポスターの事を考へてみますが、いづれ実物を刷つてお目にかけます。

◎問題のルールボード

安盛 善 佐

一月末大津で改良傳馬ヨットの試走をした後、錦光社へおさまり返つてヨタを乱れ飛はしてみた時に引受けたヨットの将棋盤——所謂ルールボードを仕事室に閉ぢこもつて一生懸命に作つて居ります。ヨットは大抵出来上りましたが盤には少々私も閉口してゐます。縦横各々三尺で真中で繋ぎ合す板にと思つて居りますが、普通の蝶番だと折疊んだ時に表の方から外側に出て折角の地函もすぐに磨損し

(9)

て台なしになつてしまひますし又板けた時に蝶番の峯の処が出てはルールボードとしては不充分の板に思ひます。何と其の接合方の良い考案はないものでせうか。板の厚みさへ相當あればよいのですか、調べてあるものは僅か二三分のものです。誰か私の名位を在永慮に利用する願、その接合法を考案して頂けませんか。

◎俱樂部ハウス建設資金

安田貞一郎

吾等が日本ヨット俱樂部も益々隆盛に赴き本シーズンには外人船行のプログラムもあり、將來日本ヨット界に君臨するには、是非共艇庫兼俱樂部ハウスを建設すべきものと思ひます。柳ヶ崎畔高く建くペデント、早く実現したいものです。之に要する建設資金も早く準備する必要ありと思ひます。此の「金」といふものはかかぬ程に

(10)

ないもので何時の間にやらなくなるものですから、此の際心して貯める程に心掛けたいと思ひます。建設委員を設置して促進方法を論じては如何でせう。

◎水の乙女は新しく夢見る

三田 静子

昨年はじめに乗せて頂いたヨツト、それも一度か二度ですもの、未だ未だヨツトを語るなんて鳥語がまし過ぎますわ。でも大好きになつてしまつたことは事実ですの。今年には是非自分でシートを履り舵を引いて見たいと思つてみますわ。やれるかしら一寸心配ですわ。産しなく高く碧い空、水晶の楳に透き徹つた木、薫風を孕んだ純白の帆、陽の光は輝き亘り、あたしの舵は亡り且つ定る。新鮮な空元で肺臓を一杯に膨らませて、あたしは歌ふよ、
O SOLE MIO、

(11)

月影は波に黄金と碎けて、解かな剛面を研る艇の舷側には波の吸く
ロオレファイにも似たメモロデー。
艇の上でシニウバートの「水の上にて歌へる」如何かのレコードでも聞けたら断然素敵だと思ひますわ。
これはあたしの夢なの。

(12)

◎ヨツトガール就職難時代

長谷川 英一

最近英國から帰朝した吉原某の帰朝談に「英國の飛行機は非常なもので特にアマテユアの飛行クラブが五十余もあり、何時でも若い男女が乗つて十台位飛んでゐる。今や民間の飛行機は、モーターサイクルから自動車を経て飛行機に移つてゐる。」と語つて居るが何といふ素晴らしい事だらう。自分は今更なから飛行機は勿論、自動車

然さへない日本人を思ふ時聊か心細くなる。然し日本にも飛行機はスポートとして奉生間に漸く行はれかけた。ウィンタースポーツの華ラグビーも大いに普及して此の冬のゲームにはラグビーフアンの多いには驚いたが、蓋し之は当然の現象と思はれる。

恐らく今シムズンはサンマースポーツの王、ヨットセイリングもラグビーのそれの如く、英國の飛行機の如く普及することだろう。

さうなれば鈴木英さん名案のヨットガールも追つて就職戦線に現れ、吾も吾もと、エンヤエンヤクラブハウスに押付けて来る日もそう遠くはあるまいと思はれる。

◎ 船やら何々も好き

吉本 満里子

..... 親ゆづりですもの.....

宮崎夫人も三田嬢も投擲なさるんだから何だ書けつて吉本が言ふん

(13)

ですけど、時々此の手でペテンにかけられますから仲々判断出来ませんのよ。

ヨットもモーターボートも船なら何でも好きですの。親ゆづりですものね。ヨットも大好きですけど、モーターボートはもつと好き。クラブでもモーターボートが悠しう御座いますわね。二百円ほどのエンジンがあるつて話ちや御座いませんの。十円でも二十円でも出し合へば二百円位すぐ出来そうに思ふんですけど。早く手に凡れて頂き度う御座いますわ。モーターボートがあればクラブの艇をもつともつと活用出来るのにと思ふ場合も度々ある極ですから、是非近い内にクラブがモーターボートを持つ極になつて頂きたいと望んで居ります。

(14)

◎ 或る対話

鈴木 英

ミミ子——「旅愁」つて随分好いんでしょ。

メメ吉——うん、アツキは水松の証なんだ。悪くない。

ミミ子——あたし判んないわ、それに此所の珈琲美味しくないわね。

メメ吉——さうかも知れないけど、兎に角前のセイルで走つて見な

くらや。

ミミ子——それ何の事。ね、もう行きませうよ。

メメ吉——あ、だけどアフカーも買はなくちやならないし、それ

明らかと……………

ミミ子——ねえ、あたし、ちれつたくなつちやつたのよ。

メメ吉——まう一週間あれば大丈夫、固航出来るさ。

ミミ子——あたし、怒つちやうわよ。

メメ吉——なあに、減号に懸賞なんかいするもんか。

ミミ子——（泣き出す）エエン、エエン、あたし……あたしエエン

(15)

エエン、どうしたら、エエン、いいのわ、エエン、エエン
メメ吉——（慌て、）え？ どうしたんだい？ ね、泣かないでさ

、舵が疏れた？ え？ さ、泣かないで、大丈夫だよ、

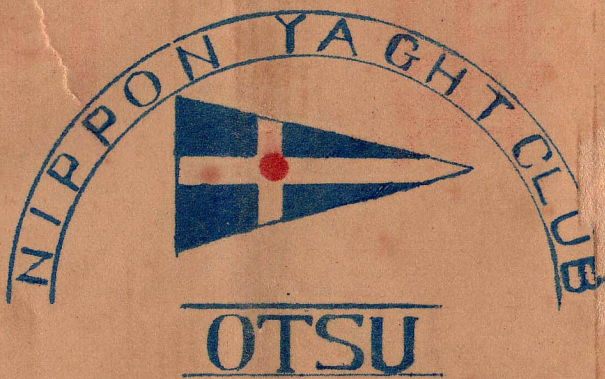
何アに、心配しなくつてもいいさ。さ、元氣を出して……

(16)

◎ コツクピット から

月報の發行が遅れて申譯ありません。本職やら内職やらが忙がしくて編輯子、テンテコ舞をしてゐるので段々遅れてしまつた次第、悪しからず。來月号から少し方針を変へて一般向きのものに転換しようと思ひます。吉本氏から頂いた原稿がもう一つあるのですが、之は來月号に廻しました。

吉本夫人、三田嬢の御投稿で今月は一寸目新しさが出来ました。発行延引の埋合せになるだらうと編輯子自ら忖めてしまつてゐます。



日本ヨット倶楽部

事務所

大津市 中保町

京都市河原町三條

ツタヤ内

艇庫

大津市 尾花川町